

日越原子力研究・人材育成フォーラム

我が国の産官学の協力のもと、2013年12月23～26日にかけて日本-ベトナム原子力研究・人材育成フォーラムをハノイ他において東京工業大学-VINATOM主催により開催した。

ベトナムは既に原子力発電導入を決定しているものの技術者の育成が喫緊の課題になっている。このフォーラムは技術者の育成の一助として、下記の目標を掲げて立ち上げたものである。

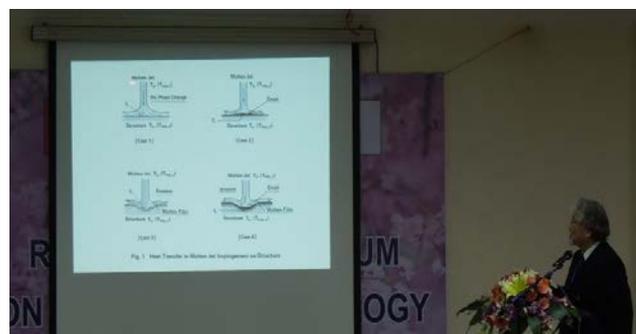
- ①日越の研究開発を紹介することによるベトナムと我が国の研究交流機会の促進
- ②研究発表を我が国とほぼ等分を実施することによる主体的意識の醸成
- ③ベトナム若手の研究発表の場を設けることによる知識吸収の段階から主体的な研究ができる人材の育成
- ④日本への留学選抜の一助とすることによる若手のモチベーション高揚と優秀な人材の発掘

我が国からは、日立、東芝、三菱重工、国際原子力開発、原子力国際協力センター、日本原子力研究開発機構、東京工業大学、長岡技科大学、京都大学から33名、ベトナムからは、商工省、科学技術省、原子力研究機構（VINATOM）、ハノイ科大学、ハノイ自然科学大、電力大学、機械研究所等から約50名の参加があった。

23～24日のフォーラムでは、19件の口頭発表と学生による8件のポスター発表があった。添付に発表題目を示す。

各口頭発表での両国の専門家同士による忌憚のない討論、若手のポスター発表と表彰などを通じて研究交流が深まった。また、この第1回フォーラム終了直後に第2回のフォーラム開催の要請があり、本フォーラムに対する強いベトナム側の期待感がうかがわれる。

25日、26日はVINATOM理事長自らの案内でDalat原子力研究所と日本が建設を予定している原子力発電予定地の見学を実施した。



主催者自らによる、安全に関する論文発表



論文集



ポスター発表で討論・審査風景



Dalat 原子力研究所訪問